

大阪府と大阪いずみ市民生活協同組合との 包括連携協定の締結について

2017年2月8日

大阪府と大阪いずみ市民生活協同組合は、2月8日(水)、福祉・子育て、健康、教育、環境、地域活性化、府政のPR、防災・防犯、雇用促進の8分野にわたる連携と協働に関する包括連携協定を締結いたします。本協定は、地方創生を通じて個性豊かで魅力ある地域社会の実現等に向けた取組みが進む中、「くらしに笑顔をお届けする」ことを使命に、府内25市町村でさまざまな事業・活動を推進する大阪いずみ市民生活協同組合と大阪府が連携・協働した活動をより一層深化させることを目的に締結するものです。このたびの協定により、より多くの分野において、連携・協働を促進し、地域の活性化と府民サービスの向上を図ってまいります。

大阪いずみ市民生活協同組合と大阪府の連携による主な取組み

■子どもたちへの支援(福祉・子育て／教育)

府内の子どもたちの食生活を支援するため、市町村や社会福祉協議会が連携している「子ども食堂」(府内13市町村と連携予定)等に対して食材を提供します。

また、これまで取り組んできた小学校向け出前授業を拡大し、「放課後子ども教室」に参画します。

■乳児家庭へのプレゼント(福祉・子育て)

府内で生まれた赤ちゃん(※)に、乳児家庭向け商品や子育て施策のお知らせなどを詰め合わせたプレゼントをお届けします。※平成27年の出生数は約7万人

■府民の健康づくりへの協力(健康)

府民の食環境の改善に向け、府が推進している「V.O.Sメニュー(※)」などの啓発に協力します。(大阪いずみ市民生協が発行する機関誌(約26万部)にV.O.Sメニューの基準を参考にした料理レシピを掲載するなど。)

※V.O.Sメニュー:野菜・油・塩の量に配慮したメニュー(V:野菜たっぷり、O:適正な油、S:適正な塩量)

■再生可能エネルギーの普及や省エネの取組みへの協力(環境)

店舗(府内12店舗)でのイベントや機関誌への掲載を通じて、再生可能エネルギーの普及や省エネの取組みに関する啓発活動に協力します。併せて、自らの事業活動で排出するCO2の削減を進めることにより、低炭素社会の実現に貢献します。

■『羽ばたけ!!もずやん』プロジェクトへの協力(府政のPR)

大阪府広報担当副知事「もずやん」の知名度向上のため、「もずやん」のイラストが入ったプレゼントBOX(府内の乳児家庭向け(前述))を作成します。



くらしに笑顔お届けします
大阪いずみ市民生活協同組合



子どもたちへの支援活動を広げます

府内の子どもたちの食生活を支援するため、市町村や社会福祉協議会が連携している「子ども食堂」(府内13市町村と連携予定)等に対して食材を提供します。府内で生まれた赤ちゃんに、乳児家庭向け商品や子育て施策のお知らせなどを詰め合わせたプレゼントをお届けします。

子どもたちの食生活への支援

2015年12月から実施している「子ども食堂」や「生活困窮者」支援をさらに推進します！

食料寄付の実績（主な寄付先）

- ・和泉市 ・泉大津市 ・岸和田市
- ・大阪府社会福祉協議会
- ・泉大津市社会福祉協議会
- ・岸和田市社会福祉協議会
- ・柏原市社会福祉協議会
- ・ふーどばんくOSAKA
- ・NPO法人 A(フードバンク活動)
- ・NPO法人 B(子どもの居場所づくり活動)
- ・医療生協かわち野生活協同組合

など



泉大津市
こどもおづみん食堂のようす



寄付食料
～物流センター～

■2016年4月～2017年1月の食材寄付の実績

お米 14,053Kg
その他食料 15,068Kg

■2017年1月末現在 協定・確認書締結数 2市、4社会福祉協議会、2NPO団体

* 別紙、詳細資料あり。

乳児家庭へのプレゼント

2017年4月より、「お誕生BOX」のプレゼントを開始します！



府在住の(希望する)赤ちゃんのもとへ、この大阪に「生まれて来てくれてありがとう」というメッセージとともに、生協の活動紹介と協賛企業からのプレゼントをお届けします。

■期間

2017年4月2日～ 2018年4月1日

■対象

府在住の上記期間に生まれた赤ちゃん
(1出生児にお1つ)

■規模

平成27年度大阪府の出生数 約7万人



お誕生BOXは、生協の職員が赤ちゃんがいるお宅にお届けします。

子どもたち・高齢者への支援活動を広げます

子どもたちが本に親しむ機会を増やすため、府内の全児童養護施設(24か所)に、年3回絵本を提供します。また、高齢者への支援として各市町村のSOSネットワークに協力するとともに、職員の認知症サポーター養成講座受講を推進します。高齢者に対するお買物支援サービスを充実させます。

児童養護施設への支援

無償で絵本をお届けする「コープのえほんでスマイル」のとりくみを推進します。



2015年より行政のすすめるブックスタートを引き継ぐ形で、1~2歳児を対象に2年間年3冊(最大計6冊)の絵本を無料でお届けする「コープのえほんでスマイル」にとりくんでいます。

* 3月にお届けする絵本で、10万冊を突破します。

* 別紙、詳細資料あり。

高齢者への支援

地域・高齢者の見守り協定の締結や市町村のSOSネットワークへの参加を広げます。

協定締結またはネットワークに参加

■16市町村

- ・八尾市・堺市・貝塚市・河南町・太子町
- ・柏原市・千早赤阪村・泉大津市
- ・河内長野市・大阪狭山市・岸和田市
- ・忠岡町・熊取町・田尻町・阪南市・岬町

■3社会福祉協議会

- ・東大阪市社会福祉協議会
- ・泉佐野市社会福祉協議会
- ・藤井寺市社会福祉協議会



移動販売車「コープのお買物便」を運行している市町村・エリアが広がっています

運行している市町村

■10市町村

- ・河内長野市
- ・千早赤阪村
- ・泉佐野市
- ・阪南市
- ・河南町・太子町
- ・和泉市(山荘町・緑ヶ丘)
- ・富田林市(UR金剛団地)
- ・貝塚市(三ツ松団地)
- ・泉南市(イトーピア)



2016年度、大阪いずみ市民生活協同組合の職員239名が認知症サポーター養成講座を受講しました。2017年度も、新入協職員への受講を計画的に推進します。

健康 府民の健康づくりに協力します

府民の食環境の改善に向け、府が推進している「V.O.Sメニュー」などの啓発に協力します。また、「コープ・ラボ たべる*たいせつミュージアム」(商品検査センター)における食中毒の予防啓発や食品を使った体験学習などを通じ、食の安全・安心への取組みを推進します。

府民の健康づくりへの協力

生協発行の広報媒体を活用して
広報します。



■V.O.Sメニュー
野菜・油・塩の量に配慮したメニュー
(V:野菜たっぷり、O:適正な油、S:適正な塩量)



機関誌いずみ
～26万部、月1回発行～

とまとちゃん NEWS いずみ市民生協は大阪府と包括連携協定を締結し、今後、さまざまな活動で連携していきます。

府民の健康づくりを応援する「健康づくり応援団の店」に生協のお店は全店登録しています。

1食あたりの塩分	野菜(Vegetable)	脂質(Oil)	食塩(Salt)
V.O.Sメニュー	120g以上	脂質エネルギー10%未満 30%以下	3.0g以下

とまとちゃん の4コマレシピ

1. 鶏肉は食べやすい大きさに切り、塩(約2%)と油(約1%)をまぶす。フライパンで焼く。
2. 鶏肉が焦げ付いたら、お湯を足して煮込む。鶏肉が柔らかくなったら、お湯を飛ばす。
3. 鶏肉が柔らかくなったら、お湯を飛ばす。
4. 鶏肉が柔らかくなったら、お湯を飛ばす。

生協の健康づくりを応援する「健康づくり応援団の店」に生協のお店は全店登録しています。



府民の健康づくりを応援する
「健康づくり応援団の店」に生協のお店
は全店登録しています。

食の安全・安心への 取組みの推進

「たべる*たいせつミュージアム」の活動を
推進します。



食の安全ゾーン



食育ゾーン



ワークショップ ゾーン



「たべる*たいせつミュージアム」の活動は、
平成26年度「大阪府食の安全安心顕彰制度」の
大阪府知事賞を受賞しました。

教育 子どもたちへの教育支援

これまで独自に取り組んできた小学校向け出前授業を拡大し、「放課後子ども教室」に参画します。また校外学習の場として、「たべる*たいせつミュージアム」に府内の子どもたちを受け入れます。大阪「こころの再生」パートナー協定締結団体として「こころの再生」府民運動に係る取組みを実施します。

「放課後子ども教室」への協力

「たべる*たいせつミュージアム」への子どもたちの受入れ

食の安全と食育・たべるたいせつをテーマにした「たべる*たいせつミュージアム」では、小学校での出張体験講座を年間を通して実施しています。この活動を、さらに拡大して展開します。

「みんなで手を洗おう！（手洗い運動）」や「知っていますか？おとうふのこと！（豆腐作り体験）」などの学習会を開催し、子どもたちに、食中毒予防や食べることの大切さを伝えていきます。



ブラックライトを使った手洗い学習のようす



お豆腐づくり体験のようす



小学校での出張体験講座のようす

たべる*たいせつミュージアムの2015年度一年間の来館者数は2万人を超えました。2016年12月時点で、**3.5万人**を突破しました。

2016年度(2016年4月～12月の期間)の小学校を対象にした活動報告

- 小学校24校2,092人(子ども1,954人、大人138人)の来館がありました。
- ミュージアムスタッフによる小学校への「出張体験講座」は小学校27校1,843人(子ども1,651人、大人192人)の参加がありました。

*別紙、詳細資料あり。

環境 低炭素社会・循環型社会の実現に協力します

再生可能エネルギーを中心とした電気の普及にとりくみ、あわせて自らの事業活動で排出するCO2の削減をすすめ低炭素社会の実現に貢献します。
また、「食品リサイクル・ループ」の活動を通して、循環型社会の実現に寄与します。
大阪府みどりの基金に寄附し、自然環境の保全および緑化の推進に協力します。

再生可能エネルギーの普及 省エネの取組みへの協力

2016年4月～12月の発電総量は680万kWh（2015年度/378万kWh）

テクノステージ物流センター太陽光発電所【1.25MW】 2012年11月稼働



あゆみ野物流センター太陽光発電所【1.0MW】 2012年11月稼働



奈良・天理太陽光発電所【1.0MW】 2015年12月稼働



京都・亀岡太陽光発電所【7.5MW】 2016年8月稼働



コープでんき

全国の生協に先駆けて2016年4月より電気の
小売事業に参入し、2016年12月末現在2.3
万件を超えるご家庭に電気を供給しています。

2012年、全国の生協で初めてメガワット規模の太陽光発電所を稼働しました。2016年、全国の生協で初めて発電総量が10メガワットを超え、経済産業省の発電事業者として登録しました。

この活動は、平成28年度「おおさかストップ温暖化賞」大阪府知事賞を受賞しました。

循環型社会の確立に向けた 取組みへの協力

食品廃棄物をたい肥化し、このたい肥を利用して野菜を生産、販売する「食品リサイクル・ループ」の取組みを進め、府がめざす循環型社会の実現に協力します。

この活動は、
平成27年度「おおさか環境賞」準大賞
を受賞しました。



食品リサイクル・ループは、農林水産大臣・環境大臣に認定(2011年)されました。

地域 活性化

地域の活性化の取組みに協力します

グループ会社の農業生産法人「(株)いずみエコロジーファーム」で生産している大阪産(もん)の販売促進に取り組むとともに、機関誌等への掲載やイベント等での大阪産(もん)のPRに協力します。また、府内のハートフル企業と連携し、ハートフルアグリ事業(農と福祉の連携)に協力します。

大阪産(もん)の販売促進・PRへの協力
ハートフルアグリ(農と福祉の連携)への協力



コープのお店の農産売場



和泉市善正町にある園場

府政の PR

広報ネットワークを活用した府政PRに協力します

『羽ばたけ!!もずやん』プロジェクトに協力します。

生協発行の機関誌・商品案内などを通じて、府政のPRを行います。また、従業員も一体となった府政のPRにとりくみます。* 従業員が啓発物やピンバッジ(例:オレンジリボン:虐待防止)などを身につけ、府政のPRに協力します。

『羽ばたけ!!もずやん』プロジェクトへの協力
いずみ市民生協の広報ネットワークを活用した府政PRへの協力
いずみ市民生協の職員も一体となった府政のPR



大阪「超」盛り上げ共同声明！

大阪府広報担当副知事「もずやん」の知名度向上のため、「もずやん」のイラストが入ったプレゼントBOX(府内の新生児家庭向け)や、こども110番のオリジナルステッカーなどを作成します。



災害に備えて連携を強化します

職員が日常の配達業務中などに府内の道路等の異常に気付いた際には、被害を最小限に留めるべく関係機関への通報に協力します。また、府が主催する防災イベントへのブース出店や、府の防災・減災施策に関する啓発などを行い、府民に対する防災意識の醸成と普及を図ります。

道路等の異常について関係機関に報告する体制の整備

宅配事業・店舗事業・福祉事業・保障事業を展開する生協は、府下の幹線道路から生活道路まで、地域の隅々まで車両を運行しています。



府民に対する防災意識の醸成と普及に関する連携

主催自治体の要請に沿って、「防災・減災にかかわるブースの出展」や「避難訓練への参加」などに、積極的に参加します。

防災訓練への参加（2016年実績）

- ・大阪880万人訓練「津波避難訓練」
- ・富田林市防災訓練
- ・大阪狭山市総合防災訓練
- ・平成28年度「熊取町総合防災訓練」
- ・河南町防災訓練
- ・近畿地方整備局・大阪府・堺市合同総合防災訓練

大規模災害に備えて

各事業所には備蓄品を配備し、さらに本部や事業所の責任者113人が「防災士」の資格を取得しています。

大阪府・市町村と連携して、大規模災害発災時に「緊急支援物資」の供給や「運搬支援」活動に協力します。

「防災協定」締結（24市町村）

- ・河内長野市・和泉市・泉南市・富田林市
- ・岸和田市・貝塚市・泉佐野市・阪南市
- ・柏原市・堺市・藤井寺市・八尾市・河南町
- ・千早赤阪村・泉大津市・忠岡町・太子町
- ・大阪狭山市・東大阪市・田尻町・熊取町
- ・岬町・高石市
- ＊松原市／災害サポート事業所に登録

河内長野市とは、福祉避難所の協定締結、堺市とは津波率先避難の協力事業者登録なども行っています。



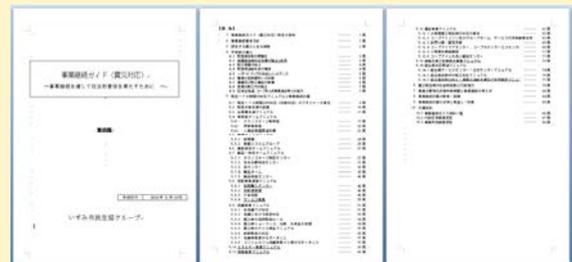
2016.10
熊取町総合防災訓練



2016.11
近畿地方整備局・大阪府・堺市合同総合防災訓練



2016.2
コープきんき事業連合にて実施した生協の「図上訓練」のようす



「こども110番」運動への参画



- すべての店舗・共同購入センター・福祉施設において「こども110番」運動に参加します。
- また、宅配の配送車両については「動くこども110番運動」に参加します。

雇用促進

女性の活躍推進と障がい者等の自立支援を促進します

女性が活躍する社会の構築に貢献します。また、障がい者の自立支援と雇用、就労継続支援の活動をすすめます。生活困窮者自立支援制度に基づき、大阪府より「就労訓練事業」実施事業者の認定を受け、就労訓練事業にとりくみます。

女性の活躍推進に関する取組みへの協力

女性の就労促進の取組みとして、府が主催する女性支援セミナーに講師を派遣するなど、女性が活躍する社会の構築に貢献します。また、働く女性が家事を軽減しつつ健康的な食生活を送れるように、調理が簡単なメニューの開発・普及を行います。

障がい者の自立支援に向けた活動の推進

2010年に、特例子会社「㈱ハートコープいずみ」と農業生産法人「㈱いずみエコロジーファーム」を設立。2012年には、就労継続支援A型事業所「ハートランド事業部」を設立しました。



【障がい者雇者数と雇用率】(2017.1現在)

	障がい者雇 用者数	障がい者雇 用率
大阪いずみ市民生活協同組合	17人	2.22%
㈱ハートコープいずみ	38人	151.06%
㈱いずみエコロジーファーム	23人	110.86%
㈱コンシェルジュ	16人	8.28%



【障がい者雇用の詳細】(2017.1現在)

	重度身体 障がい者の 数	重度身体 障がい者以 外の身体障 がい者の数	重度知的 障がい者の 数	重度知的 障がい者以 外の知的障 がい者の数	精神障がい 者の数
大阪いずみ市民生活協同組合	3人	3人	2人	8人	1人
㈱ハートコープいずみ	2人	0人	31人	5人	0人
㈱いずみエコロジーファーム	1人	0人	9人	10人	3人
㈱コンシェルジュ	2人	3人	1人	8人	2人



平成26年に、大阪府より「ハートフル企業大賞」を受賞しました。

「就労訓練事業」を通じた支援の促進

2015年、「㈱ハートコープいずみ」と「㈱いずみエコロジーファーム」が、大阪府では社会福祉法人以外で初めての「就労訓練事業」実施事業者の認定を受けました。



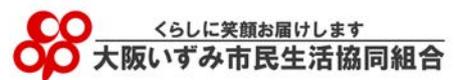
2016年12月時点で、和泉市3人、堺市3人、松原市1人、岸和田市3人、貝塚市1人の就労困難者を受け入れました。

2017年度も引き続き、大阪府および市町村と連携して就労訓練事業を推進します。

就労訓練事業とは

「生活困窮者自立支援法」における「就労訓練事業」は、就労訓練（中間的就労）は、一般就労と、いわゆる福祉的就労（障がい者雇用など）との間に位置する就労の形態として位置づけられています。

【お問い合わせ先】



広報PR担当 高野(たかの)陽一
(電話番号)072-232-5100
(アドレス) y-takano@izumi.coop